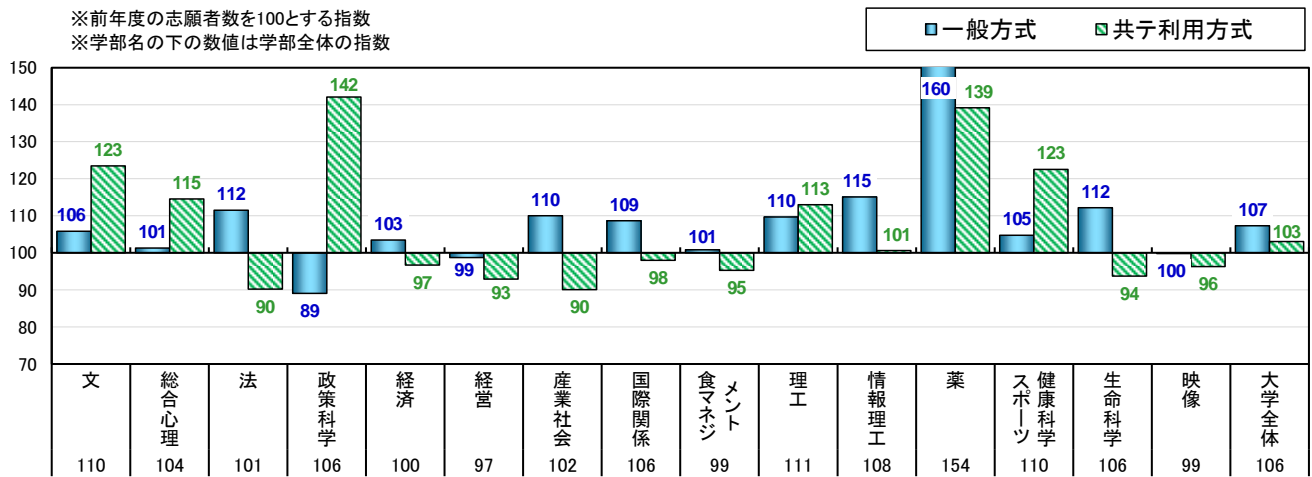


立命館大：大学全体では 4,823 人のやや増加

一般：+3,905 人 共テ：+918 人



**主な入試変更点**

選抜方法：情報理工(情報理工/情報システムグローバル)〈共テ+面接グローバル方式〉  
 …対面での面接 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンライン面接に変更  
 →オンライン面接 ※対面での面接廃止

募集人員：経営(国際経営)…〈全学統一・文系〉44人→41人  
 産業社会(現代社会/現代社会)…〈全学統一・文系〉130人→133人  
 (現代社会/メディア社会)…〈全学統一・文系〉68人→75人  
 (現代社会/子ども社会)…〈全学統一・文系〉23人→20人、  
 国際関係(国際関係/国際関係)…〈全学統一・文系〉76人→79人、  
 〈学部個別・文系〉10人→7人  
 〈共テ・7科目型、5教科型、3教科型〉13人→10人  
 情報理工(情報理工/情報システムグローバル除く)…〈全学統一・理系〉169人→174人  
 薬(薬)…〈薬学〉25人→28人  
 (創薬科学)…〈薬学〉12人→16人

出願方法：薬(薬、創薬科学)〈薬学〉×全学統一・理系…2学科併願制の新規導入

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前年度大幅減少の反動で4,823人(106)のやや増加となったが、志願者数は2年連続で9万人を下回った。方式別では、一般方式3,905人(107)、共通テスト利用方式918人(103)のいずれもやや増加。学部別では、経営(97)がやや減少、食マネジメント(99)、映像(99)、経済(100)の微減を除く11学部が増加で、特に薬(154)は5割以上の大幅増加。

- 〈一般方式〉
- 文(106)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学域別では、(人文/言語コミュニケーション)(142)、(人文/日本史研究)(121)、(人文/人間研究)(120)、(人文/日本文学研究)(115)は大幅増加。一方で、(人文/地域研究)(86)、(人文/国際文化)(89)は減少、(人文/国際コミュニケーション)(96)はやや減少。
  - 総合心理(101)は、3年連続減少の反動は小さく微増。方式別では、〈学部個別・文系〉(124)、〈学部個別・理1型〉(116)はいずれも大幅増加。一方で、〈全学統一・文系〉(96)はやや減少。
  - 法(112)は、3年連続減少の反動と系統への人気の高まりから増加。方式別では、〈全学統一・文系〉(119)は大幅増加。一方で、〈学部個別・文系〉(88)は減少。それぞれ3年ぶりの増減。
  - 政策科学(89)は、減少で4年連続減少。方式別では、〈後期分割〉(148)は大幅増加。一方で、〈学部個別・文系〉(62)、〈全学統一・文系〉(83)はいずれも大幅減少。
  - 経済(103)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。専攻別では、(経済/国際)(104)、(経済/経済)(103)はいずれもやや増加。
  - 経営(99)は、前年度大幅減少に引き続き微減で2年連続減少。学科別では、(国際経営)(97)はやや減少、(経営)(99)は微減だが2年連続減少。
  - 産業社会(110)は、2年連続減少の反動で増加。専攻別では、(現代社会/スポーツ社会)(133)は大幅増加で4年ぶりに志願者数が600人を上回り、(現代社会/現代社会)(117)は2年連続減少の反動で大幅増加、(現代社会/人間福祉)(108)は前年度大幅減少の反動で増加、(現代社会/子ども社会)(106)は前年度大幅減少の反動でやや増加。一方で、(現代社会/メディア社会)(91)は前年度大幅増加の反動で5専攻中唯一減少。
  - 国際関係(109)は、増加で前年度の反動による増減が継続。専攻別では、(国際関係/グローバル・スタディーズ)(120)は前年度減少の反動で大幅増加、(国際関係/国際関係)(107)も前年度減少の反動でやや増加。
  - 食マネジメント(101)は、微増だが2018年度の新設以降で初めての増加。方式別では、〈理系型3教科〉(135)は大幅増加、〈後期分割〉(112)は増加、〈学部個別・文系〉(103)はやや増加で2年連続増加。一方で、〈全学統一・文系〉(93)はやや減少で新設2年目の2019年度以降4年連続減少。
  - 理工(110)は、前年度大幅減少の反動で増加。学科・コース別では、(環境都市工)(131)、(建築都市デザイン)(122)、(電気電子工)(116)は大幅増加、(電子情報工)(111)、(物理科学)(110)、(数理科学/数学)(109)は増加。一方で、(機械工)(95)はやや減少、(ロボティクス)(98)、(数理科学/データサイエンス)(99)は微減だがいずれも2年連続減少。

- 情報理工(115)は、前年度減少の反動で大幅増加。前年度の反動による増減が継続。
- 薬(160)は、一部の方式での2学科併願制の新規導入、前年度大幅減少の反動に加えて系統への高い人気から激増。学科別では、(創薬科学)(260)は2.6倍の激増、(薬)(130)は大幅増加。方式別では、2学科併願制の新規導入をした<薬学>(189)、<全学統一・理系>(162)はいずれも激増。
- スポーツ健康科学(105)は、2年連続減少の反動は小さくやや増加に留まった。方式別では、<全学統一・文系>(110)は増加。一方で、<学部個別・文系>(84)は2年連続大幅減少、<理系型3教科>(93)はやや減少で2年連続減少。
- 生命科学(112)は、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では、すべて増加で、(生命情報)(127)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(生命医科学)(111)、(生物工)(108)は増加。
- 映像(100)は、前年度並。方式別では、<全学統一・文系>(107)はやや増加。一方で、<後期分割>(80)は大幅減少、<学部個別・文系>(89)は減少、<学部個別・理1型>(94)はやや減少。

#### <共通テスト利用方式>

- 文(123)は、5年連続減少の反動で大幅増加。学域別では、すべて増加で、(人文/言語コミュニケーション)(205)は倍増以上、(人文/国際コミュニケーション)(152)、(人文/人間研究)(133)、(人文/日本史研究)(124)、(人文/東アジア研究)(122)は大幅増加。
- 総合心理(115)は、大幅増加で6年ぶりに増加。
- 法(90)は、減少で3年連続減少、志願者数も3,000人を下回った。
- 政策科学(142)は、3年連続減少の反動で大幅増加。
- 経済(97)は、やや減少で2年連続減少。専攻別では、(経済/経済)(102)は微増だが、(経済/国際)(44)は半減以下の大幅減少で2年連続減少。
- 経営(93)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(国際経営)(106)は前年度半減以下の反動は小さくやや増加に留まった。一方で、(経営)(91)は減少で2年連続減少。
- 産業社会(90)は、減少で2年連続減少。専攻別では、5専攻すべてが減少。特に(現代社会/人間福祉)(76)は前年度の半減以下に引き続き大幅減少で志願者数は400人を下回った。(現代社会/メディア社会)(80)も2年連続大幅減少。
- 国際関係(98)は、(国際関係)のみの募集で、5年連続減少。
- 食マネジメント(95)は、やや減少で3年連続志願者数は900人を下回った。
- 理工(113)は、前年度大幅減少の反動で増加。学科別・コース別では、(環境都市工)(152)、(建築都市デザイン)(123)、(数理学/数学)(122)は大幅増加、(物理科学)(112)、(電気電子工)(111)、(ロボティクス)(109)は増加。いずれも前年度減少の反動。一方で、(機械工)(96)はやや減少で2年連続減少。
- 薬(139)は、大幅増加で5年ぶりに増加。学科別では、2学科とも大幅増加で、(創薬科学)(171)は3年連続減少の反動で激増、(薬)(126)も5年連続減少の反動で大幅増加。
- スポーツ健康科学(123)は、大幅増加で4年ぶりに増加。方式別では、<共テ・後期型>(232)、<後期分割>(219)はいずれも倍増以上の激増、<共テ併用>(110)、<共テ・7科目型>(110)はいずれも増加。
- 生命科学(94)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(生命情報)(108)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(生物工)(85)は大幅減少で3年連続減少、(生命医科学)(93)、(応用化)(94)は2年連続減少。
- 映像(96)は、やや減少。方式別では、<共テ併用>(110)は増加、<共テ・5教科型>(104)はやや増加。一方で、<共テ・後期型>(65)は前年度3.7倍以上の激増の反動で大幅減少、<共テ・3教科型>(87)は減少。